

あいちカーボンリサイクル推進協議会
第1回 カーボンリサイクルコンクリート実証導入・基準検討ワーキンググループ
議事要旨

1 日 時

2025年9月8日（月）午前9時30分～午前11時30分

2 場 所

愛知県自治センター8階 会議室D

3 出席者

名城大学工学部環境創造工学科 道正泰弘 教授、名古屋高速道路公社、中部地方整備局企画部技術管理課、江南市都市整備部都市整備課、大府市環境課、東浦町インフラ整備部建設企画課、愛知県建設局土木部建設企画課、愛知県農林基盤局農地部農林総務課、愛知県企業庁管理部総務課、愛知県環境局地球温暖化対策課（事務局）

4 議事概要

（1）ワーキンググループの設置目的

事務局より、カーボンリサイクル（CR）コンクリートの普及に向けては、公共工事等においてCRコンクリートの実証導入事例を積み上げ、適用可能な基準類を整備することが必要である旨を説明。

こうした背景を踏まえ、本ワーキンググループ（WG）においては、実証導入モデルケースの創出及び品質管理基準の整備等に係る課題への対応等について協議する旨を説明し、併せて、今後のスケジュールを提示した。

（2）カーボンリサイクルコンクリートについて

大成建設株式会社より、同社が先行的に製造・実装を進めているCO₂吸収型コンクリート（T-αConcrete[®]）について説明があった。同コンクリートの特徴や性能、同社工事における適用事例等について紹介があり、本WGにおいて検討するCRコンクリートの概要、普及に向けた道筋及び今後適用が期待される構造物や用途のイメージ等について、意見聴取した。（説明後、同社は退出。）

（3）国における新素材利用・基準検討に係る動向

中部地方整備局企画部技術管理課より、国土交通省が発注する土木工事（直轄工事）における脱炭素化の方針についてまとめた『国土交通省土木工事の脱炭素アクションプラン』の概要について説明のうえ、中部地方整備局の直轄工事において低炭素型コンクリート※を活用した試行工事の実施状況や、その実施に至るプロセス等について説明がなされた。

※コンクリート中のセメント成分を、一定割合以上、高炉スラグ等 CO₂ 排出削減効果のある材料に置き換えたコンクリート。CO₂ 吸収型コンクリート (CR コンクリート) を含む。

(4) 県公共工事における実証導入モデルケース案について

愛知県建設局建設企画課より、国の公共工事等におけるカーボンニュートラルに向けた取組の方向性を踏まえ、愛知県建設局としても CR コンクリートの社会実装に主体的に取り組むことを説明し、CR コンクリートの実証導入モデルケースとなりうる本県の公共工事や導入製品イメージについて議論を行った。

(5) 実証に向けたコンクリートの試験について

事務局より、市場性などの観点から CR コンクリートの実証導入の方向性を整理するとともに、実証導入に必要な性能試験項目や基準について説明し、その内容について議論を行った。

(6) その他

事務局より、WG 内のコンクリート利用者に対して、CR コンクリートの実証導入候補場所や性能試験項目等に係る意見についてアンケート調査を行う旨を説明。また、次回 WG の予定等について案内した。